

“県土の活力を高める道づくり” ～若松北バイパス起工式～



鍬入の様子

若松北バイパスは、地域高規格道路「会津縦貫北道路」と国道118号若松西バイパスを結び、会津若松市から南会津町に至る「会津縦貫南道路」とともに、「会津軸」を形成する重要な道路です。

今回、無事に工事の着手に至ったことの喜びを関係者と共有するとともに、工事の順調な進捗を祈願するため、起工式を執り行いました。

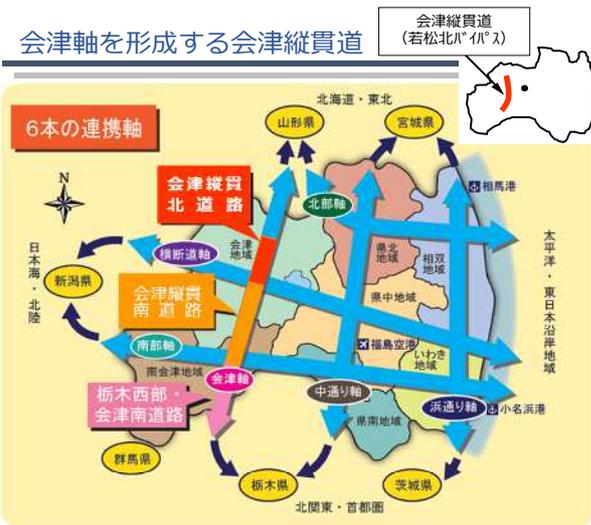
起工式には、関係機関や地元の方々など、約50名が出席し、「着工は待ちに待ったうれしいこと」や「会津縦貫道全体のみならず、山形県や栃木県に繋がっていくことは、本県だけではなく多くの皆さんにとって希望」といった御祝や期待の言葉をいただきました。

式の最後に、鍬入（工事着手に当たり初めて現地に鍬を入れる儀式）を行い、工事の着手を祝いました。

今後は、工事の発注者である県や受注者が連携し、工程や安全管理に努め、本バイパスの一日も早い開通に向け、全力で取り組んでまいります。

『工事への御理解と御協力をお願いします』

会津軸を形成する会津縦貫道



若松北バイパスの事業区間



現在の状況

